

ボールの特性レポート

BALL REPORT



| | | | | | |
|------|---------|-----|-------|-----------------------|-----------|
| ボール名 | ラウド・ノイズ | 投球者 | 徳江 和則 | センター | 平和島スターボウル |
| RG | 2.560 | △RG | 0.040 | ●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール | |

テストボール：ラウド・ノイズ

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

4 1/2 インチ

研磨剤

番

比較対照ボール：ノイズ

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

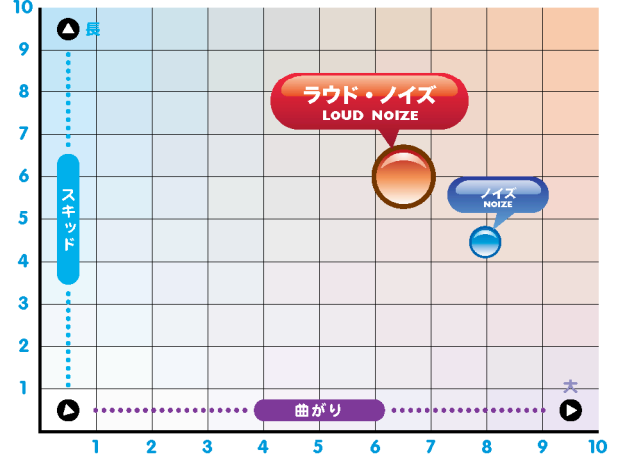
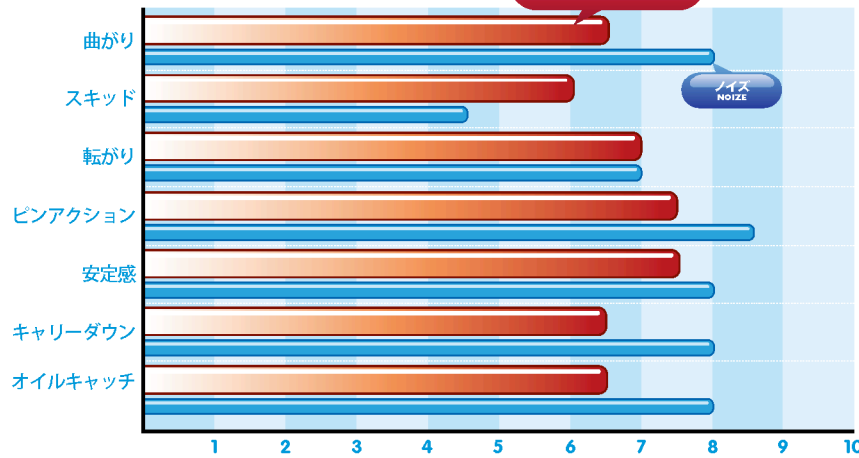
4 1/2 インチ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

ミッドプライスながらリサーチエンスと同じカバーストックを纏ったNOIZEは数量限定もあり、発売以前のバックオーダーで完売に至りました。コストパフォーマンスと反比例しがちなH1クオリティーを兼ね備えたNOIZEシリーズ。今回はリサーチエンス及びNOIZEで使用したカバーストックのパール仕様、Pearl New Era Reactiveを纏い、11月6日に世界同時発売致します。

リサーチエンスでも立証されたNew Era Reactiveのオイルに対するの強さはパールを混入する事により、十分なスキッドを確保する事ができ、それでいてカバーストックの強さをドライゾーンでの反応に反映できている性能に仕上げているのがこのLOUD NOIZEです。

リアクション特性はSkid/Flip。NOIZEの後継機であるが故のTI BOSSIIコアは、コア自体それ程モーションポテンシャルが大きくないコアであることを熟知した故のPearl New Era Reactiveカバーストックの採用であり、コロムビア社がカバーストックに絶対の自信があることをこのLOUD NOIZEで証明しているかのようにバランスの取れた性能を感じ取ることができます。バックエンドでの反応の良いカバーストックにこのTI BOSSIIコアの組み合わせは非常に扱いやすく、フリップ感のある柔らかくキレのあるリアクションでも暴れない扱い易さが特徴的です。

コロムビア社が提唱する、コストパフォーマンスとH1クオリティーの融合は高いレベルで完成できていることを証明できているボールでしょう。

特記事項

Pearl New Era Reactiveカバーストックの#4000ポリッシュ仕上げ。ドライゾーンから反応の良いキレのあるフリップ感を味わえるボールです。